

天明まちづくりセンターだより

発行/熊本市南区天明まちづくりセンター 〒861-4125 熊本市南区奥古閑町 2035 ☎096-223-1117 FAX096-223-3275

震災対処実働訓練

4月17日、熊本市内の全指定避難所で、震度6弱を想定した避難所訓練が実施されました。天明地域では、天明まちづくりセンター、天明体育館、天明中学校、中緑・銭塘・奥古閑・川口小学校が避難所として指定されています。今回の訓練には、各小学校区防災連絡会委員の皆様にもご参加いただき、市職員と共に避難所開設手順や防災倉庫の物資資材について確認をいただきました。皆様真剣に取り組まれており、熊本地震から5年が経ちましたが、防災意識が強く感じられる訓練でした。参加された皆様お疲れ様でした。



熊本市 LINE アカウントに登録すると防災情報等が見れます。この機会に是非ご登録を！

友だち登録は、こちらの二次元コードを読み込んでください



天明総合出張所 キャッシュレス決済開始

各区役所区民課や動植物園等において、住民票の写しや納税証明書等の発行手数料のお支払い、動植物園の入場料のお支払いの際、キャッシュレス決済を一部行うことが可能となりました。クレジットカードや電子マネー（交通系ICカード等）など、カードやスマートフォンを専用の端末にかざすだけで決済が完了する機器を導入することで、ご利用者の利便性向上を図ります。皆様もこの機会にご利用ください。（※PayPayなどのQRコード決済機能は、今後導入予定です。）

新企画ふるさとの鳥シリーズ(1)ミサゴ



今月より新たに始まる「ふるさとの鳥シリーズ」では、天明地域で見かける野鳥についてご紹介いたします。紹介者は銭塘町(下内田)にお住まいの白河部健さんです。白河部さんは、野鳥の観察を趣味とされており、天明各地を歩いて回り、様々な野鳥の写真を撮影されています。初回は「ミサゴ」です。

私は健康づくりのためウォーキングに出かけるが、その途中でいろいろな野鳥に出会う。そのなかから「ミサゴ」について紹介したい。

ミサゴは、ワシ・タカの仲間である。大きさは50~60cm程で、羽を広げると170cmにもなる大型の猛禽類であるが、餌は主に魚で水中にダイビングして捕まえる。体の下面は白く、上面は黒褐色である。全国の海岸、湖沼、河川で1年中見かけられる。

天明では学料の海岸でよく見かける。海の中に突っ立っている木の棒に止まり、ボラなどの魚を食べている。このミサゴが、千間塘の電柱にいることに気づいた。昨年12月から今年の3月まで、ほぼ毎日いるのである。それも、必ず魚を捕まえ、悠々と食べている。時にはカラスがちよっかいに来るが、しっかりと魚を食べている。

私には、「食べている魚は何だろう」「どこから捕まえてくるのだろうか」が、長い間の疑問であった。そして、遂に解決の日「4月15日(木)」が来た。千間塘の横道を歩いていると、いつものようにミサゴが電柱に止まっている。しばらく観察していると、パッとミサゴが飛び立ち、真逆さまに千間江湖の中に突っ込んだのである。江湖から飛び上がってきたミサゴは、大きな鯉をしっかりと捕まえていた。



私たちが住んでいる天明には、まだまだ豊かな自然が残っているようだ。

防災行政無線放送確認ダイヤル

放送確認ダイヤルに電話すると、通常電話料金にて防災行政無線の放送内容が確認いただけます。

- ① 電話する ※番号のかけ間違いにはご注意ください
096-351-6361
- ② 自動音声案内に従い、天明地域の放送内容を選択する
「27#(27シャープ)」をプッシュ
- ③ 放送内容を確認する

防災行政無線について、以前より音量が小さく内容が聞こえない、分からない等のお声をいただいていた。今回ご紹介する放送確認ダイヤルでは、24時間以内に放送された防災行政無線の放送内容がいつでも確認できます。天明地域の放送内容は、音声案内に従い、ダイヤル「27#」を選択してください。（通常電話料金がかかります。）操作案内の途中でも、操作できます。

放送内容をご確認されたい時に、ぜひご利用ください。